

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業				部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
					実施期間	H17～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						




1 現状と課題

長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農産物総生産の約77%、(2,483億円/県全体3,244億円 令和2年農水省推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。一方、生産者の減少や高齢化による生産構造の脆弱化の進行、連作障害の発生や不順天候の影響による作柄の不安定化、資材高騰等による生産コストの増加が課題となっている。

2 事業目的

県内で育成されたオリジナル品種や販売力の高い品目・品種の導入・拡大、スマート農業技術・環境にやさしい栽培体系の導入推進、規模拡大や生産効率化のための農業機械や集出荷施設等の整備により、競争力が高く、気候変動にも対応できる強靱な園芸産地を実現する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

<p>①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご・ぶどうの多収・省力化栽培技術導入に向けた研修会の開催 ・県オリジナル品種の生産拡大に向け技術習得や経営改善を支援 ・苗木生産や出荷の効率化を図る機械・施設の導入支援 <p>②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要花きにおける需要期安定出荷栽培技術の導入に向けた現地実証や技術習得の支援 ・主要花きや新規品目の生産性向上に向けた技術研修会の開催 ・燃油価格高騰対策のため、ヒートポンプ、内部カーテン等省エネ設備導入支援による経営の安定化 <p>③施設果菜類等における増収技術や露地野菜における環境にやさしい栽培技術の普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質で安定的な野菜産地構築のためのモデルほ場設置、新技術・新品種の導入支援 ・環境モニタリング装置やアシストスーツの貸し出しによる施設園芸スマート農業技術の普及推進 ・【拡】使用済プラスチック削減や減肥・減農薬に資する技術の現場実証を支援 	 <p>りんご高密度植栽培</p>  <p>ヒートポンプ導入による施設の省エネ化</p>  <p>緑肥作物利用による化学肥料削減</p>
--	---

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	実績	推移	実績	推移			
①	生産振興を目的とした研修会開催回数	回	47	40	↘	42	↗	40	達成	新品種・新技術の普及拡大を図るため、現場指導にあたる技術者及び生産者向け研修会の回数を指標として設定	
②	果樹戦略品種等の栽培面積 (シナリップ、クイーンルージュ®等)	ha	2,534	2,768	↗	2,943	↗	2,826	達成	県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出	
③	りんごの高密度植・新しい化栽培面積	ha	520	590	↗	603	↗	735	未達成	県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出	
④	夏秋期のレタス、ハクサイ、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	%	56.6	52.0	↘	47.6	↘	40.8	達成	生産者の経営安定と消費者への安定供給を確保する目標等として設定 ※目標値:野菜の産地強化計画をもとに設定	

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	1,039,997	1,424,235	△ 213,683	2,250,549	54,628	1,492,382	3.1
R3年度	128,007	1,579,334	△ 254,767	1,452,574	53,618	388,380	3.1
R2年度	306,400	1,053,504	△ 467,695	892,209	58,832	703,633	3.1

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

6 主な取組実績と成果

① 果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興

- ・りんご高密度植栽培の課題となる台風被害等へ対策技術について、気象災害に強い果樹産地づくり研修会等を開催し、生産者への周知を行った。
- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培管理研修会を開催し、生産者が高品質なぶどうを生産していくための技術力向上につながった。（12回、240人）
- ・りんご高密度植栽培に必要なフェザー苗木生産にかかる土づくり用緑肥処理機の導入支援を行った。



「クイーンルージュ®」現地検討会

② 新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入推進

- ・カーネーションやトルコギキョウの切り花本数向上、品質向上に係る実証試験やシャクヤク等地域性の高い品目の生産性向上に関する実証ほを15か所設置した。検討会を2回、研修会を1回開催し、生産者、県関係機関が連携して地域の課題解決に取り組むことができた。
- ・花き施設園芸農家を中心に、ヒートポンプ、保温カーテン等の導入を支援し、施設の省エネ化を推進することができた。



トルコギキョウの隔離栽培の検討

③ 施設果菜類等における増収技術や露地野菜における環境にやさしい栽培技術の普及推進

- ・野菜における地域の課題解決のための実証試験を10地域で16課題実施した。
- ・環境モニタリング技術等の増収につながる施設園芸におけるスマート農業を推進するためのセミナーを全5回開催し、県・市町村・JAの関係者延べ220人が参加し、普及・推進するための技術力が向上した。
- ・環境にやさしい農業に取組む地域の実証試験を支援（2か所）、実証ほを設置（3回）、環境にやさしい農業技術の研修会・検討会を4回開催した。



緑肥作物推進検討会

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	生産振興を目的とした研修会開催回数	R3年度推移	↓	R4年度推移	↑	達成状況	達成
果樹ではりんご高密度植栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の普及に向けた研修会等を16回、花きでは振興研修会等2回、野菜ではスマート農業セミナーやトマト接木に関する研修会等を24回、全体で合計42回の研修会を開催し、目標を上回った。							
指標②	果樹戦略品種等の栽培面積（シナリップ、クイーンルージュ®等）	R3年度推移	↑	R4年度推移	↑	達成状況	達成
栽培管理研修会や認知度向上に向けた販促活動により、シャインマスカットやクイーンルージュ®などの高級ぶどうの生産が目標を上回り、果樹戦略品種等の栽培面積が目標値を上回った。							
指標③	りんごの高密度植・新しい化栽培面積	R3年度推移	↑	R4年度推移	↑	達成状況	未達成
果樹経営支援対策事業による改植の実施や気象災害に強い果樹産地づくり研修会等の開催により、高密度植・新しい化栽培の導入を推進し、栽培面積は増加してきたが、凍害や風害などのリスクから導入をためらう生産者も多く、目標値の82%にとどまった。							
指標④	夏秋期のレタス、ハクサイ、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	R3年度推移	↓	R4年度推移	↓	達成状況	達成
契約指定野菜安定供給事業による資金造成により、契約出荷割合は目標値を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・りんご高密度植栽培は、ぶどうの新植が想定以上に拡大した影響を受けたほか、凍害や風害などのリスクにより導入をためらう生産者も多かったことから、栽培面積の増加は5年前の想定よりも緩やかであったため、これらの課題に対応した支援が必要である。
- ・各品目とも、高齢化や担い手の減少により、樹園地や野菜等の作付面積、農業経営体数が減少すると予測されるため、産地を維持するために、経営基盤の強化や、生産力・収益性の向上を図る必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・果樹では県オリジナル品種の生産が進んできたため、品質向上や生産基盤を強化し、果実産出額の増加を図る。特にりんご高密度植栽培においては、高密度植栽培推進チームの設置により課題解決を行うとともに、フェザー苗木生産やトリスの補強、多目的防災網の設置を支援する。
- ・花きでは、施設の省エネ化や暑熱対策、開花調整技術の普及により、需要期にピークに出荷できる生産体制の整備と収益性の向上を図る。
- ・野菜では、スマート農業技術や、雨よけ施設化の支援等、施設果菜類における増収技術の普及拡大や、露地野菜における緑肥作物利用等の環境にやさしい農業技術の取組拡大を推進する。

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	-----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州農業生産力強化対策事業	45,044 千円	51,182 千円	50,440 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力の強化を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援 実施団体数：35団体	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	皆で取り組む園芸産地振興事業	3,355 千円	3,105 千円	2,950 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご高密度植・新しい化栽培推進のための研修会等の開催や、ぶどう「クイーンルージュ®」の普及促進に向けたモデル園の設置を支援 研修会・検討会の開催：16回	
2	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等、主要切り花の需要期出荷量・品質等の向上に向けた実証ほの設置、検討会の開催を支援 実証ほの設置：15か所	
3	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	露地野菜における省力化・安定生産技術や、施設果菜類におけるスマート農業技術の普及に向けた実証ほの設置、検討会の開催を支援 実証ほ・モデルほの設置：23か所	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	園芸産地強化対策整備事業	655,079 千円	333,905 千円	1,321,257 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援 実施地区数：9地区	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	スマート農業普及加速化事業	155 千円	188 千円	435 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	施設園芸指導者向けスマート農業講座	直接	普及指導員、J A 技術員等を対象に環境モニタリングや、それを活用した環境制御技術、養液栽培の体系的セミナーを開催 スマート農業セミナー開催回数：5回	
2	スマートハウス栽培実践産地育成支援	直接	・環境モニタリングシステムを通信料のみ利用者負担で貸出し ・利用者間で情報交換やグループ学習できる体制づくりを支援 環境モニタリング装置貸し出し数：5台	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	グリーン園芸転換推進事業	0 千円	0 千円	435 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	廃プラスチック、化学肥料、化学農薬の削減技術の推進	補助金	化学肥料削減に向けた有機質肥料の実証試験等を支援（レタス等の葉菜類） 実証試験実施か所数：2か所	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	施設園芸燃油価格高騰対策設備導入支援事業	0 千円	0 千円	116,865 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	省エネルギー設備導入に取り組む事業実施主体の支援	補助金	施設園芸農家の省エネルギー設備（ヒートポンプ、保温カーテン等）導入を支援 導入支援事業者（施設園芸農家）数：144件	